

認 知 症 疾 患 医 療 セ ン タ ー

だ よ り VOL15

R元年度認知症研修会を開催しました

2019年9月発行

「認知症の人の意志決定支援～その人らしい暮らしを支えるためにできること～」をテーマに2人の先生に講演いただきました。

- 「認知症の人の日常生活・社会生活における意志決定支援ガイドラインについて」
中京大学法務総合教育研究機構 教授 稲葉一人先生
- 「認知症のステージアプローチと意思表示と選択の支援～地域連携型認知症医療センターでの取り組みから」
オレンジほっとクリニック 東京都地域連携型認知症疾患医療センター長 平原佐斗司先生



講演会



質疑応答

医療・介護・行政等から272名の参加があり、関心の高さがうかがえました。

アンケート結果から、講演は非常に参考になった・参考になったと95%以上の方が答えており満足度の高い研修になりました。

感想として「ガイドラインの理念が理解できた」「本人にとっての最善が本人の意志を尊重することではないというお話はとても心に残った」「認知症のステージアプローチやライフレビューなど勉強になった」「認知症の終末期ケアについても考える事が出来た」など沢山ありました。

今後取り上げて欲しいテーマとしては、認知症の人への接し方、運転免許に対する対応、医療・介護・行政のネットワーク構築についての希望が多くあり、今後検討したいと思います。

10/21(月)18:00～認知症セミナー 場所:ゼブラ棟2階だんだん
『急性期病院における認知症患者さんへの関わりを考えよう
～BPSD・せん妄と薬剤の関連について～』を行ないます。
参加をお待ちしています。